

## 安全・安心なまちづくり

子育てしやすい環境づくりをはじめ、誰もが生涯にわたり安心して暮らせるまちづくりを進めます。

### 高齢者および障がい者の バス等運賃助成制度の拡充

- ・バス等乗車券(2,000円相当)の交付に係る自己負担(500円)を廃止
- ・申請書を共通引換券に変更することで申請手続きを簡素化(ニコパカードへの引換・チャージは直接、神姫バス・神姫ゾーンバス営業所へ)
- ・タクシー券で「チョイソコみき」の利用が可能

【4,142万円】

### 水道の基本料金の全額免除

- ・市民生活の負担軽減を図るため、国の交付金を活用して、令和8年4月から11月検針分(8カ月間)の水道基本料金を全額免除

【2億9,515万円】



### 全てのこどもに 手厚い教育・保育環境を提供

- ・教育・保育の質の向上と職員の負担軽減を図るため、保育教諭などの増員を支援
- ・特別な配慮や見守りが必要な児童への対応を支援
- ・外国人世帯への対応を支援

【9,460万円】



### 市立共同作業所の新設による集約化

- ・三木共同作業所、口吉川共同作業所、あすなろ作業所の3施設を1カ所(口吉川共同作業所周辺)に集約
- ・令和10年度に供用開始予定

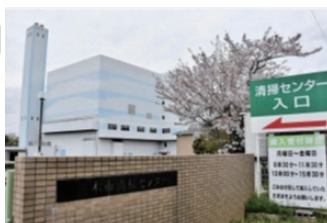
【2,900万円】



### 次期ごみ処理施設の整備を推進

- ・焼却とメタン発酵を組み合わせた高効率発電ができる「ハイブリッド方式」による施設の整備を推進
- ・事業者の選定および事業に必要な用地を購入

【2億534万円】



### こども食堂の運営を支援

- ・物価高騰の中でも安心して活動を継続できるように、こどもの参加人数や開催回数に応じて補助金を加算
- ・運営の安定化や良質な食事の提供を支援

【95万円】



## 令和8年度の主な事業

### 教育のまちの推進

「我が子の教育は三木市で受けさせたい」と思ってもらえる魅力ある学校づくりや教育環境の充実など教育のまちの推進に取り組みます。

#### 小中一貫教育の推進

- ・吉川地域での「施設一体型小中一貫校」の設置に向け、開校準備委員会で協議の上、基本計画の策定を推進
- ・教員研修や児童生徒の積極的な交流など、小中一貫教育の取組を継続して推進

【1,953万円】

#### 不登校対策への継続的な取組

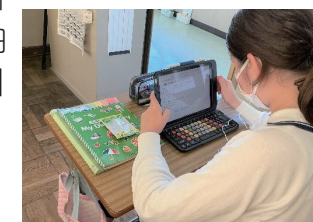
- ・サポートルーム対応の不登校対策指導員を市内全中学校、6小学校に配置
- ・フリースクールへ通う児童生徒への支援を行い、学びの機会を確保

【5,870万円】

#### タブレット端末を活用した教育の推進

- ・令和7年度にiPadへ更新したタブレット端末を活用し、児童生徒の主体的な学びを支援
- ・Wi-Fiアクセスポイントと校内LANを新規格のものに更新

【2億1,962万円  
(3月補正)】



#### みきティブ(部活動の地域展開)の推進

- ・クラブ運営の支援拡充や指導者研修にWEB研修システムを導入
- ・令和8年度末までに50クラブ(運動系30、文科系20)の設立をめざす

【2,270万円】



#### 学校給食費の支援

- ・保護者の家計負担の軽減を図るため、国の交付金を活用して小学校は無償化
- ・市独自の支援で中学校は半額補助

【2億4,520万円】



#### 学校体育館の空調設備を整備

- ・生徒の熱中症予防や災害時における避難所としての環境向上のため、中学校体育館に空調設備を整備
- ・今年度は、三木中学校をモデル校とし、整備工事を実施

【5,345万円(3月補正)】

#### 生活困窮世帯のこどもの学習・生活を支援

- ・寺子屋みきの定員を拡大
- ・学習面に加え、調理実習などの体験を通じた学びも支援

【750万円】